

## 2015年は「日韓国交正常化50周年」

日本と韓国が最も近くて重要な隣国同士として友好的関係を築いてきた中、九州と韓国においては更なる地理的近接性や利便性を活かした関係が構築されている。貿易の面においても、重要なパートナーから今日においては良きライバルへと転換しながら友好関係が発展してきた。現在では、韓国は日本にとっては中国、米国に次ぐ第3位の貿易相手国で、九州においては中国に次ぐ第2位の輸出相手国である。特に、九州の強みである半導体等電子部品の輸出相手国としては、2014年は韓国がトップとなっている。

人的交流面においても、近年は韓国人旅行者が九州を訪れる機会が多くなり、2014年の韓国人入国者数は過去最高を記録している。様々な観光名所や温泉等魅力が盛りだくさんの九州では、新たな集客手法として、「オルレ（韓国独自のトレッキング）」のための風光明媚なコース等も設けており、オルレ目的に訪れる韓国人観光客も増加している。

このような状況のもと、九州経済産業局では、独自に中国、韓国等の東アジア・環黄海地域の成長ダイナミズムと連動し、九州の産業・企業の国際競争力を確保することを目的として、韓国、中国の中央政府や経済団体とのパートナーシップのもと、2001年3月から九・韓・中持ち回りで「環黄海経済・技術交流会議」を開催し、連携を深めている。

また、今年は「日韓国交正常化50周年」を迎える。現在に至るまでの50年間で、九州の貿易動向等も大きく変化してきた。このたび「九州経済国際化データ2015・貿易編」では、これまでの九州と韓国の貿易の変遷について、体系的に分析してみた。併せて人的交流についてのデータも掲載した。

本資料が、これからの韓国とのより発展的な関係構築あるいは推進の一助となれば幸いである。

### ★第13回環黄海経済・技術交流会議★



## 2014年の貿易動向

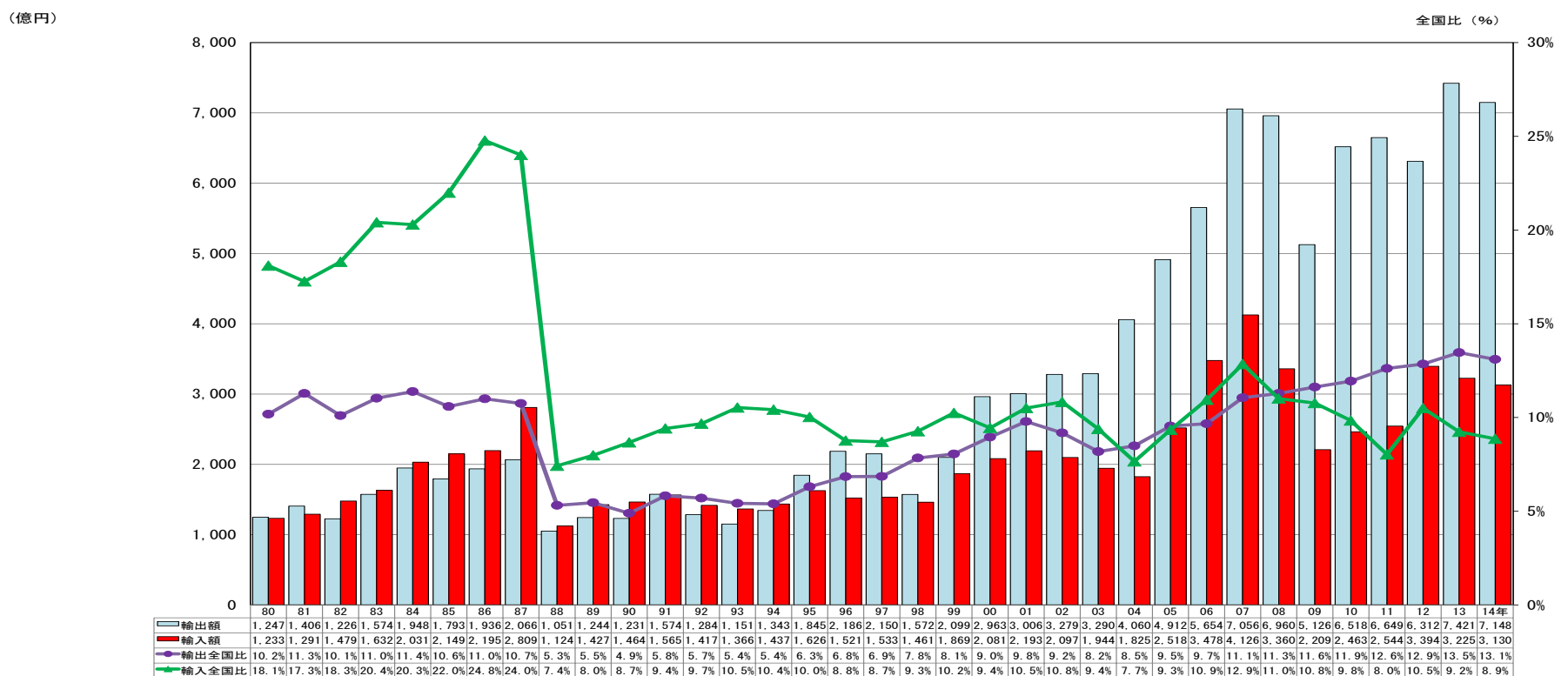
- 2014年の九州の対韓国貿易額は、輸出が7,148億円(前年比3.7%減)、輸入は3,130億円(前年比2.9%減)で輸出入ともに減少となった。【図1】
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置等となっており、2014年は半導体等電子部品が2013年に引き続き好調で、前年を上回った。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油製品、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品等となっており、2013年は好調だった半導体等電子部品が減少し、前年を下回った。

## ポイント

- 九州の韓国との貿易動向は、1994年までは輸入超過の傾向にあったが、1995年からは輸出超過の状況が続き、2014年までに輸出額は輸入額の2倍を超えている。
- 1980年から2014年にわたり、九州の韓国との貿易は輸出入ともに九州の全世界に対する輸出入と比較して全国比が高い。

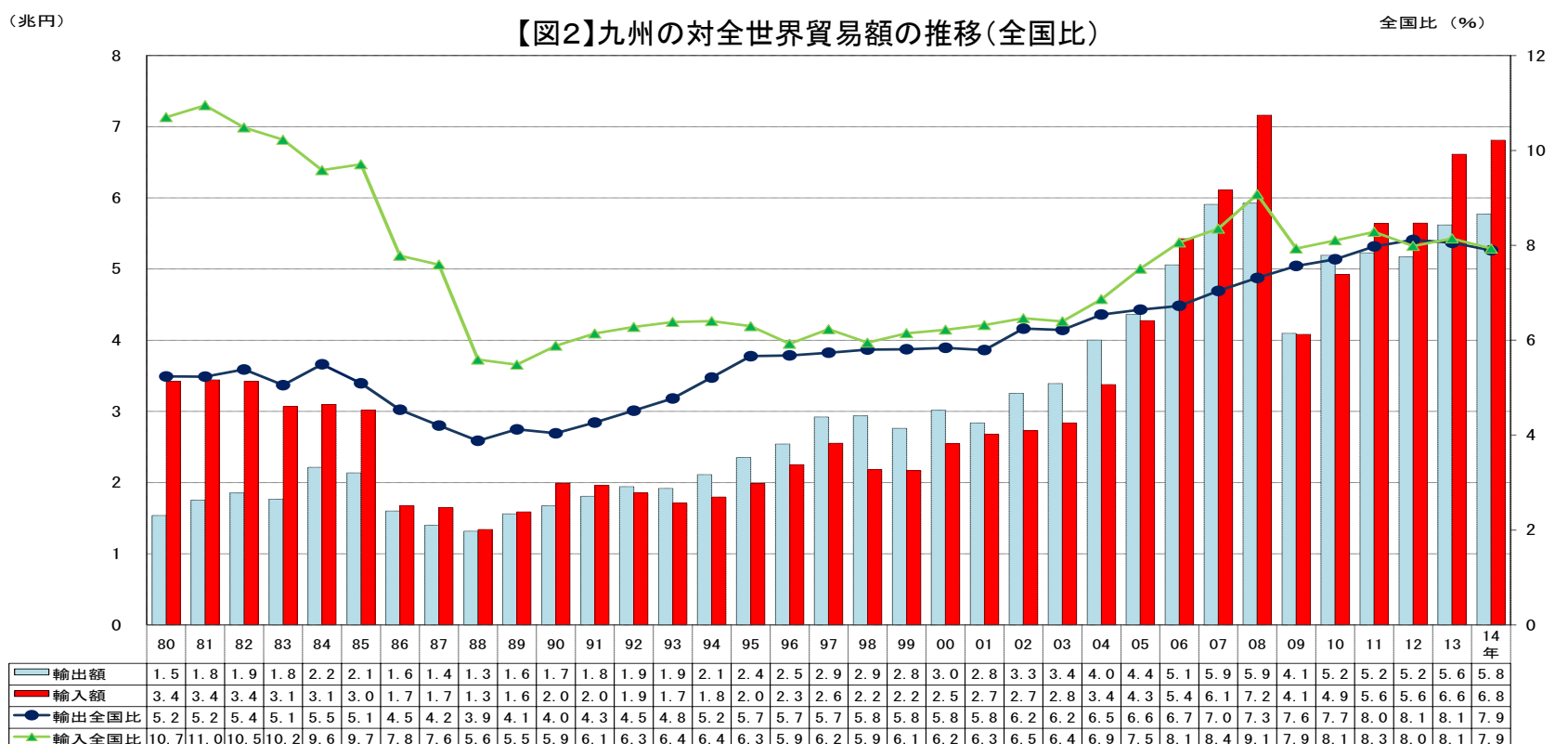
【図1】、【図2】

【図1】九州の対韓国貿易額の推移①(全国比)



(兆円)

【図2】九州の対全世界貿易額の推移(全国比)



# ポイント

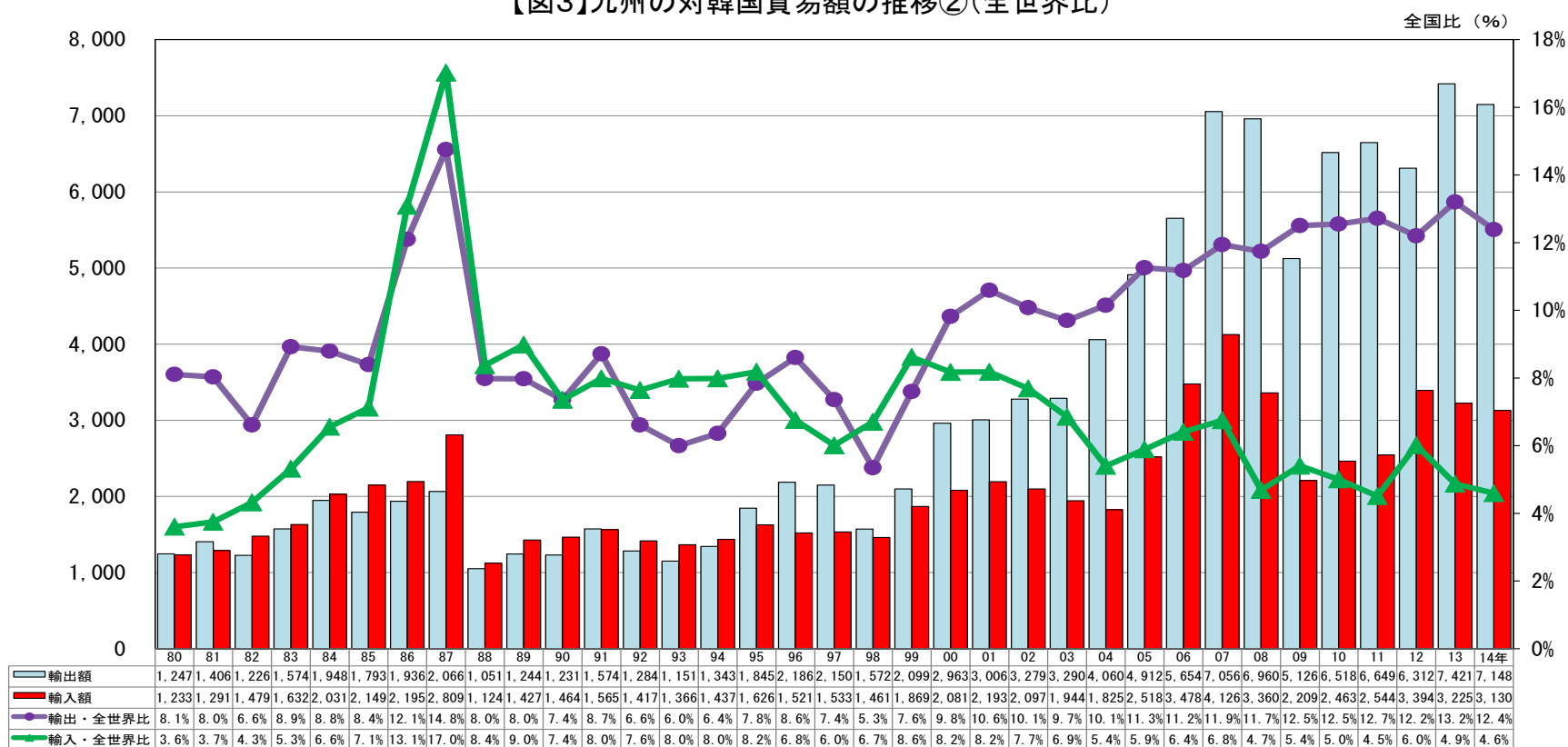
●1980年から2014年にわたり、九州と韓国の輸出入額の九州全輸出入額に対する割合(全世界比)は、全国と比較して高い水準で推移している。

★九州の貿易における韓国度は、全国と比較して高い水準で推移している。

【図3】、【図4】

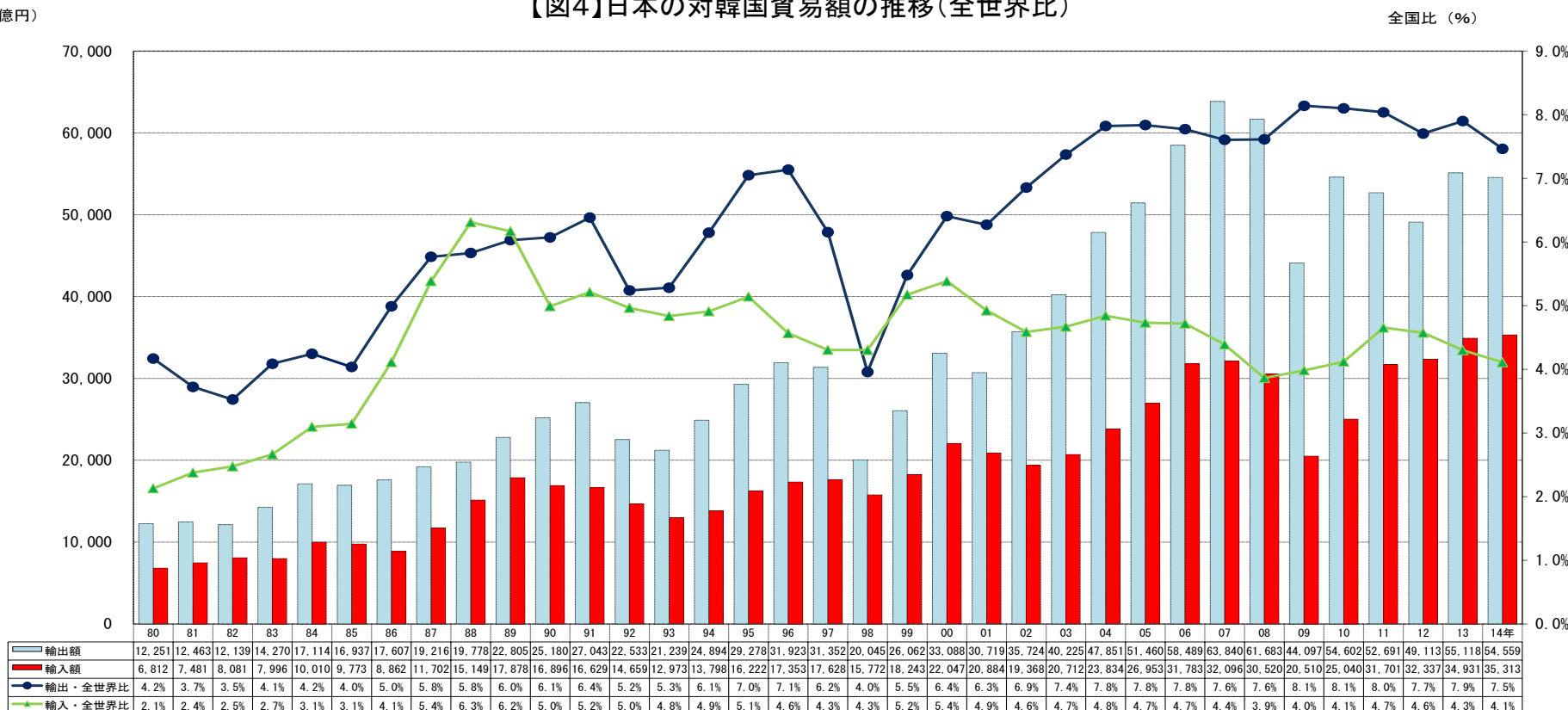
【図3】九州の対韓国貿易額の推移②(全世界比)

(億円)



【図4】日本の対韓国貿易額の推移(全世界比)

(億円)



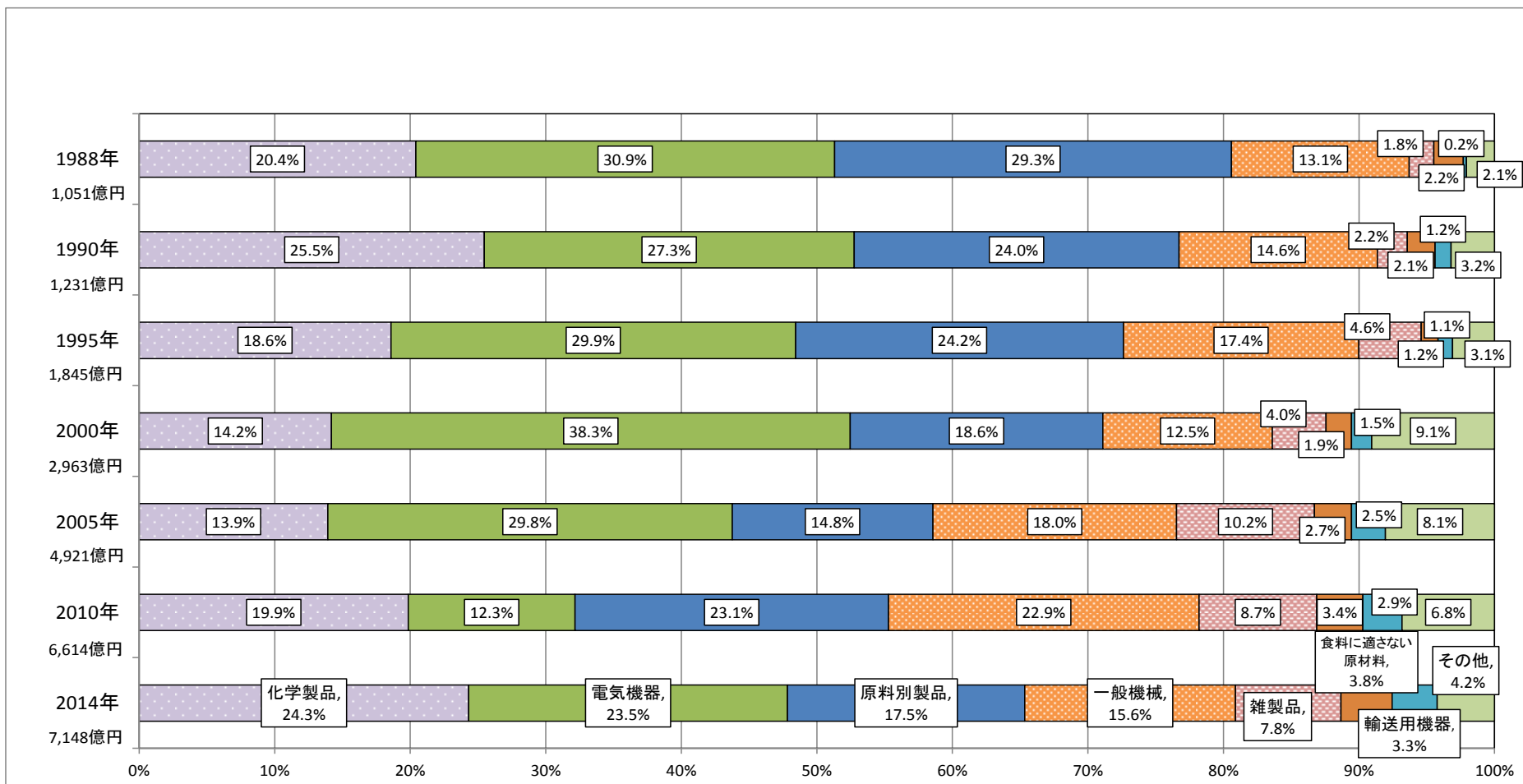
出所: 図1~4 財務省「貿易統計」、及び門司税関提供統計資料より九州経済産業局作成。(ただし1987年までは九州7県に下関港のデータが含まれている。)

## 九州の主な輸出入品目の変遷

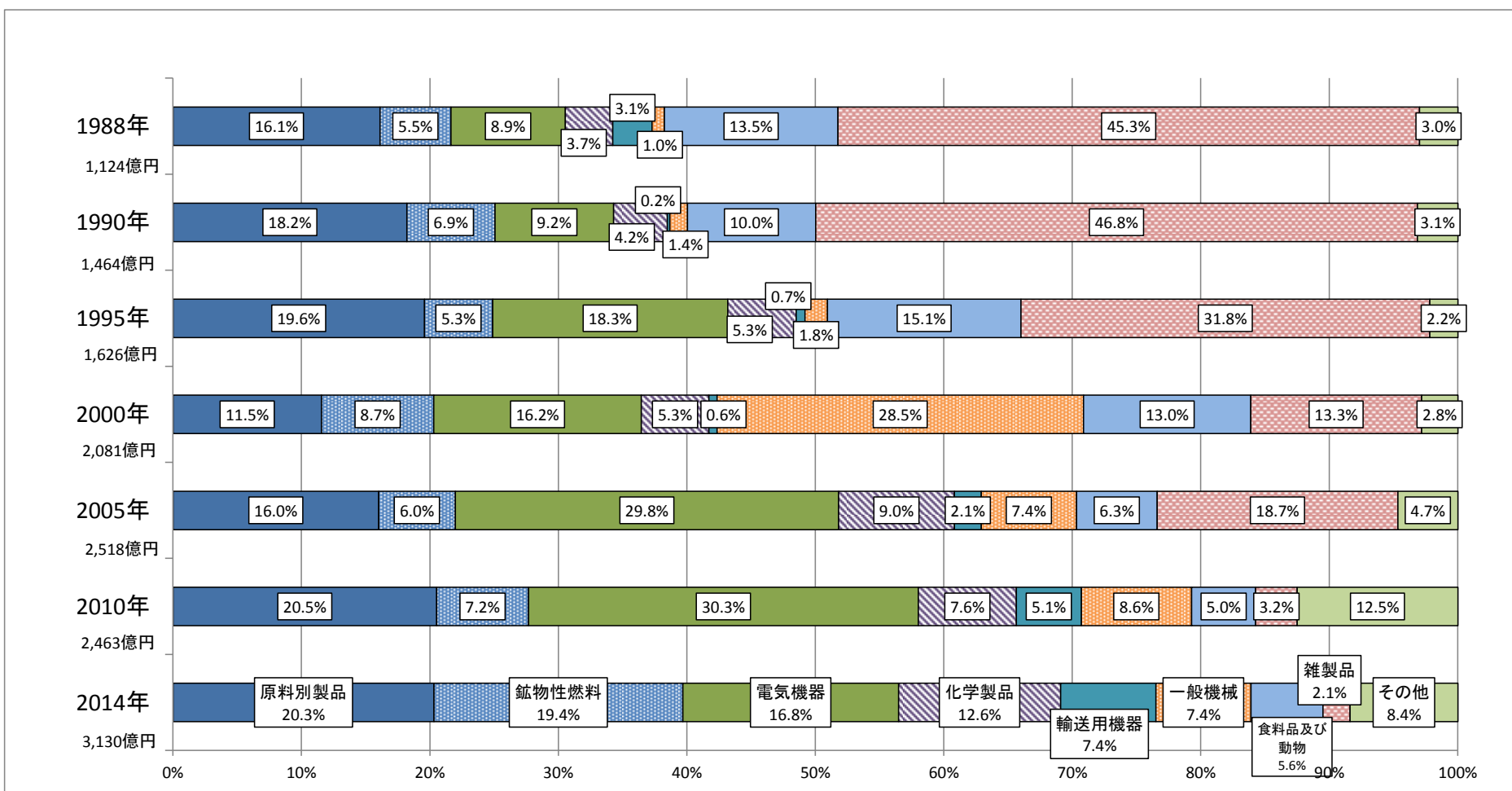
●1988年から2014年までの輸出品目の変遷では、2000年頃までは電気機器(半導体等電子部品)、原料別製品(鉄鋼)、化学製品(有機化合物)が多くを占めていた。主要品目の構成は現在も変わらないが、近年は韓国経済の発展にともない、家電をはじめとするさまざまな電気製品に必要な半導体等電子部品や同様に幅広く活用されているプラスチック製品等の原料となる有機化合物、更に、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置、自動車等、輸出品目の活用目的が多様化し、輸出額が伸びた。【図5】

●1988年から2014年までの輸入品目の変遷では、2000年頃までは雑製品(衣類及び同付属品等)が多くを占めていたが、近年では原料別製品(鉄鋼金属製品等)、鉱物性燃料(石油及び同製品)、電気機器(半導体等電子部品)等が多くなっている。半導体等電子部品については韓国では主力産業となり、輸出1位の地位を保っている。また、九州においてはガソリン精製の石油製品(重油)を多く輸入している。【図6】

【図5】 九州の韓国への主な輸出品目の変遷



【図6】 九州の韓国からの主な輸入品目の変遷



九州の主な輸出入品目の変遷(上位10品目)

- 1988年から2014年までの輸出品目の変遷(上位10品目)では、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、有機化合物等が上位を占めている。【図7】
- 1988年から2014年までの輸入品目の変遷(上位10品目)では、メリヤス編み及びクロセ編み衣類や衣類等が上位を占めていたが、近年では半導体等電子部品、石油製品、鉄鋼のフラットロール製品等が上位を占めている。【図8】

【図7】

九州の韓国への主な輸出品目の変遷(上位10品目)

単位: 億円

年	品目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	その他	総計
		品目名	金額	構成比	品目名	金額	構成比	品目名		
1988年	品目名	半導体等電子部品	鉄鋼のフラットロール製品	有機化合物	銅及び同合金	電気回路等の機器	音響・映像機器の部分品	無機化合物	その他	総計
	金額	191	171	155	47	40	35	29	383	1,051
	構成比	18.2%	16.2%	14.7%	4.5%	3.8%	3.4%	2.8%	36.5%	100.0%
1990年	品目名	有機化合物	半導体等電子部品	鉄鋼のフラットロール製品	銅及び同合金	無機化合物	音響・映像機器の部分品	織物用糸	その他	総額
	金額	224	223	126	50	49	34	34	490	1,231
	構成比	18.2%	18.1%	10.2%	4.1%	4.0%	2.8%	2.8%	39.8%	100.0%
1995年	品目名	半導体等電子部品	有機化合物	鉄鋼のフラットロール製品	銅及び同合金	無機化合物	織物用糸	原動機	その他	総額
	金額	380	180	142	77	53	52	50	911	1,845
	構成比	20.6%	9.8%	7.7%	4.2%	2.9%	2.8%	2.7%	49.4%	100.0%
2000年	品目名	半導体等電子部品	鉄鋼のフラットロール製品	有機化合物	銅及び同合金	電気回路等の機器	音響・映像機器の部分品	科学光学機器	その他	総計
	金額	849	320	253	106	93	81	70	1,191	2,963
	構成比	28.7%	10.8%	8.5%	3.6%	3.1%	2.7%	2.4%	40.2%	100.0%
2005年	品目名	半導体等電子部品	有機化合物	鉄鋼のフラットロール製品	科学光学機器	映像機器	原動機	電気回路等の機器	その他	総計
	金額	998	426	419	391	147	122	109	2,300	4,912
	構成比	20.3%	8.7%	8.5%	8.0%	3.0%	2.5%	2.2%	46.8%	100.0%
2010年	品目名	半導体等製造装置	鉄鋼のフラットロール製品	科学光学機器	半導体等電子部品	有機化合物	(鉄鋼のくず)	映像機器	その他	総計
	金額	1,103	1,090	492	424	354	175	173	2,803	6,614
	構成比	16.7%	16.5%	7.4%	6.4%	5.4%	2.6%	2.6%	42.4%	100.0%
2014年	品目名	半導体等電子部品	鉄鋼のフラットロール製品	半導体等製造装置	有機化合物	科学光学機器	自動車	(鉄鋼のくず)	その他	総額
	金額	1,365	847	709	591	512	182	181	2,760	7,148
	構成比	19.1%	11.9%	9.9%	8.3%	7.2%	2.5%	2.5%	38.6%	100.0%

【図8】

九州の韓国からの主な輸入品目の変遷(上位10品目)

単位: 億円

年	品目名	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	その他	総計
		品目名	金額	構成比	品目名	金額	構成比	品目名		
1988年	品目名	メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類	魚介類(生鮮・冷凍)	音響・映像機器(含部品)	石油製品	衣類付属品	鉄鋼のフラットロール製品	その他	総計
	金額	201	143	104	67	62	48	46	453	1,124
	構成比	17.9%	12.8%	9.3%	5.9%	5.5%	4.3%	4.1%	40.3%	100.0%
1990年	品目名	メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類	石油製品	衣類付属品	魚介類(生鮮・冷凍)	半導体等電子部品	鉄鋼のフラットロール製品	その他	総額
	金額	271	168	96	86	76	59	57	652	1,464
	構成比	18.5%	11.4%	6.6%	5.9%	5.2%	4.0%	3.9%	44.5%	100.0%
1995年	品目名	メリヤス編み及びクロセ編み衣類	半導体等電子部品	鉄鋼のフラットロール製品	魚介類(生鮮・冷凍)	石油製品	魚介類の調製品	音響・映像機器(含部品)	その他	総計
	金額	278	206	103	85	84	70	58	743	1,626
	構成比	17.1%	12.7%	6.3%	5.2%	5.2%	4.3%	3.5%	45.7%	100.0%
2000年	品目名	事務用機器	半導体等電子部品	石油製品	メリヤス編み及びクロセ編み衣類	魚介類の調製品	魚介類(生鮮・冷凍)	鉄鋼のフラットロール製品	その他	総計
	金額	535	216	168	157	104	88	76	738	2,081
	構成比	25.7%	10.4%	8.1%	7.5%	5.0%	4.2%	3.7%	35.5%	100.0%
2005年	品目名	半導体等電子部品	科学光学機器	石油製品	鉄鋼のフラットロール製品	有機化合物	魚介類(生鮮・冷凍)	メリヤス編み及びクロセ編み衣類	その他	総計
	金額	632	343	127	119	106	52	52	1,087	2,518
	構成比	25.1%	13.6%	5.1%	4.7%	4.2%	2.1%	2.1%	43.1%	100.0%
2010年	品目名	半導体等電子部品	石油製品	鉄鋼のフラットロール製品	自動車の部分品	鉄鋼製構造物及び同建設機材	通信機	魚介類(生鮮・冷凍)	その他	総額
	金額	535	165	132	118	88	80	61	1,284	2,463
	構成比	21.7%	6.7%	5.4%	4.8%	3.6%	3.2%	2.5%	52.1%	100.0%
2014年	品目名	石油製品	鉄鋼のフラットロール製品	半導体等電子部品	自動車の部分品	有機化合物	通信機	魚介類(生鮮・冷凍)	その他	総額
	金額	588	296	281	222	155	54	50	1,484	3,130
	構成比	18.8%	9.5%	9.0%	7.1%	5.0%	1.7%	1.6%	47.4%	100.0%

## 自動車の部分品の韓国からの輸入額(九州・港別)

1994年 単位:千円

博多	129,039
福岡空港	229
門司	330,080
九州輸入計	459,348

1999年

苅田	332
博多	334,583
福岡空港	6,710
門司	456,944
九州輸入計	798,569

2004年

博多	309,573
福岡空港	520
門司	3,661,040
九州輸入計	3,971,133

2010年

伊万里	148,684
戸畑	84,486
川内	2,379
博多	2,884,023
福岡空港	16,020
門司	8,664,642
九州輸入計	11,800,234

2012年

伊万里	288,700
志布志	234
長崎空港	1,022
博多	4,189,731
福岡空港	46,484
門司	12,079,468
九州輸入計	16,605,639

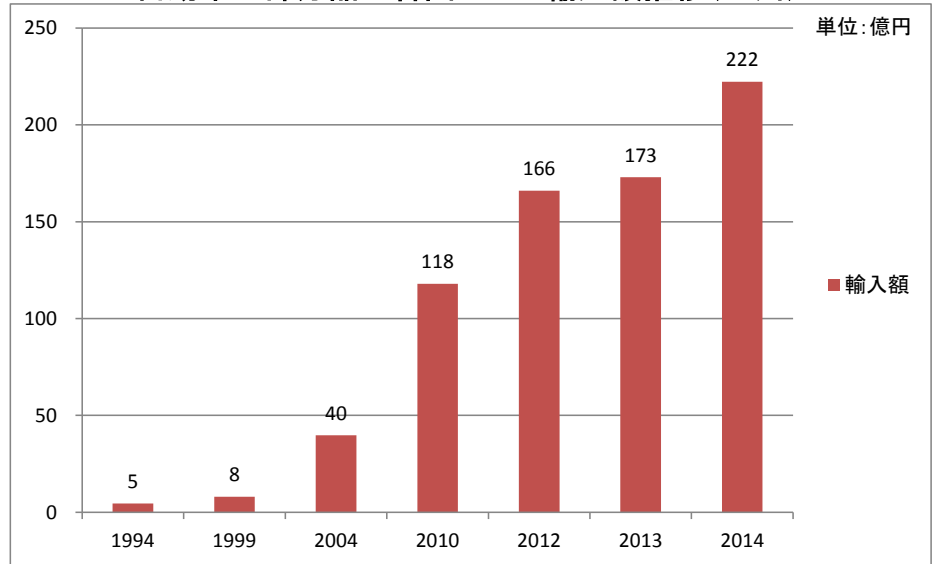
2013年

伊万里	268,820
川内	1,115
長崎空港	3,178
博多	8,057,729
福岡空港	16,254
門司	8,945,907
九州輸入計	17,293,003

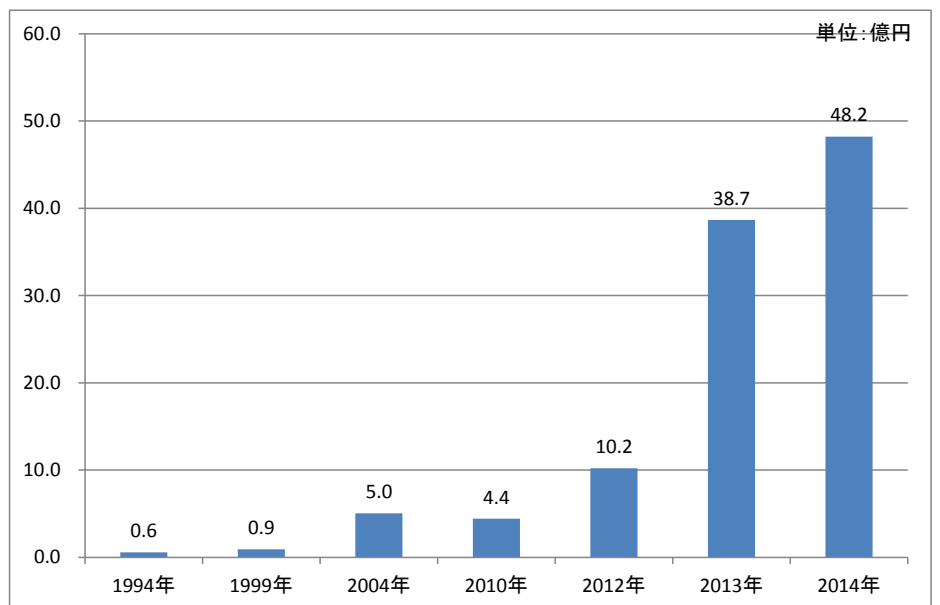
2014年

伊万里	215,018
博多	14,006,991
福岡空港	126,655
門司	7,878,320
九州輸入計	22,226,984

## 自動車の部分品の韓国からの輸入額推移(九州)



## 自動車の部分品の韓国からの輸入額推移(下関港)



### ポイント

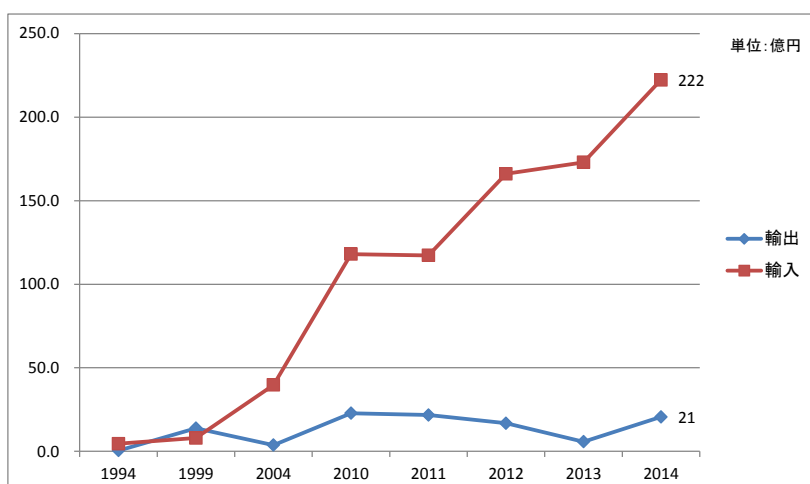
- 韓国からの自動車の部分品の輸入は20年前と比較して大幅に増えており、九州の様々な港から輸入されている。
- 2012年の日中韓物流大臣会合の合意に基づく、日中両政府の規制緩和(ダブルナンバー)により、日産は下関港から韓国部品の輸入を始めた。
- 2013年以降、下関港における韓国からの自動車の部分品の輸入が大幅に増えている。
- 韓国-九州(下関)間では、自動車部品調達等において両国のナンバープレートを付けた「ダブルライセンスナンバー」のトレーラーが公道を相互に乗り入れることができる。積荷を載せ替える作業が不要となり、物流費削減の効果をもたらす。しかしながら、当初期待されていた他の分野(生鮮食料品等)においては、未だ効果は得られていない。

※実証実験では、日産自動車九州(福岡県)と、提携先の韓国・ルノーサムスン自動車(釜山(プサン))の両工場を往復する貨物便で、集荷した自動車部品を相手国に運んだ。

### 参考

- 自動車の部分品については、輸出額に比較して輸入額が大幅に伸びている。

出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

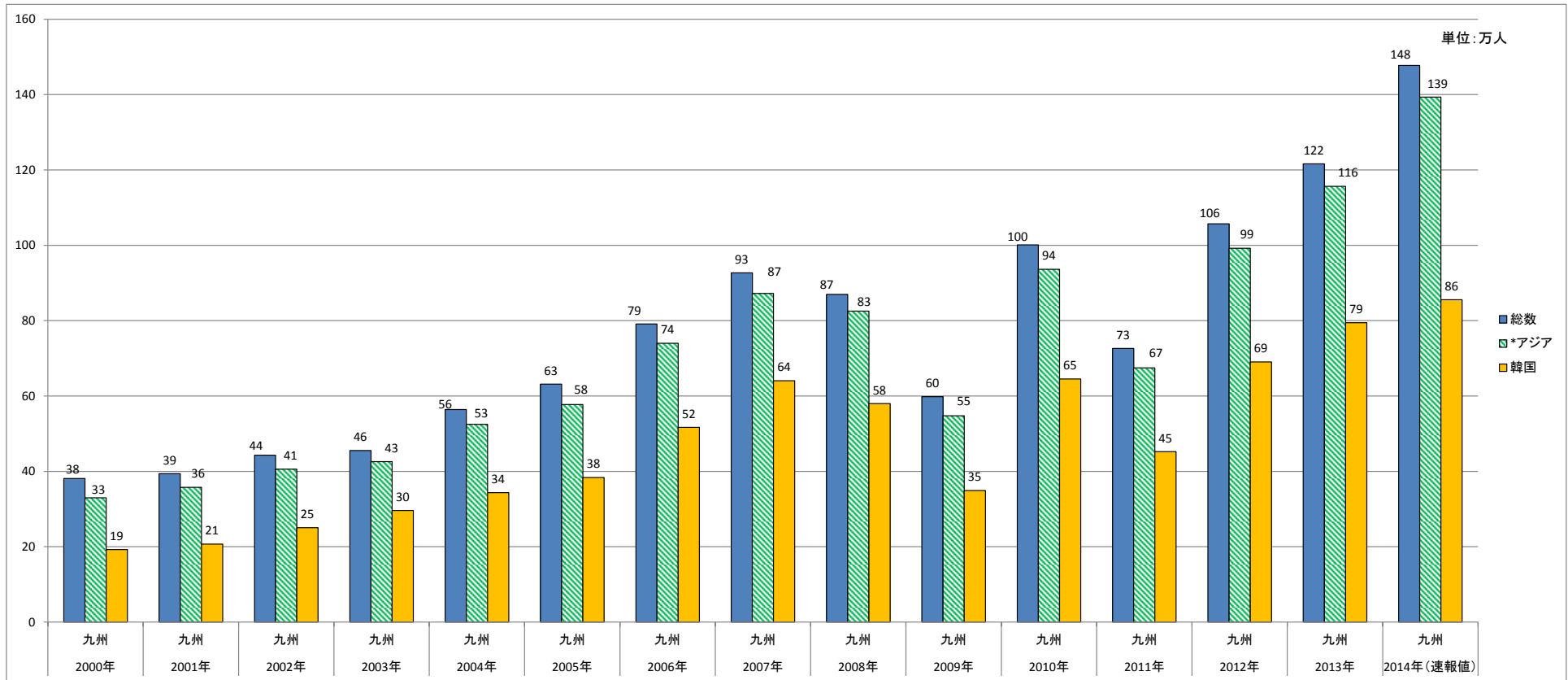


## 人的交流の動向

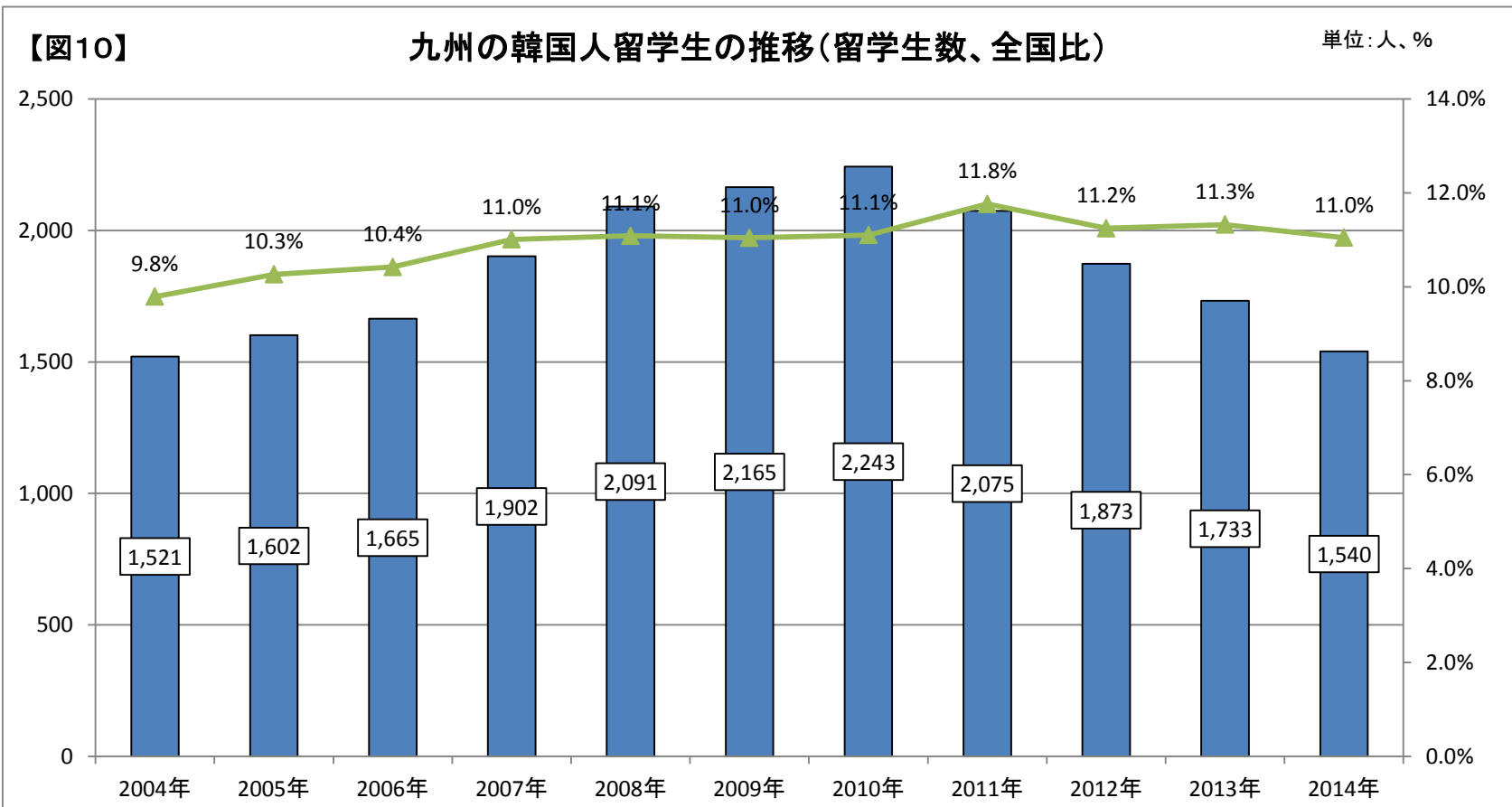
- 九州の韓国からの入国者数の推移では、近年は増加傾向にあり、2014年(速報値)は過去最高を記録した。【図9】
- 韓国からの留学生については、2010年をピークに減少傾向にある。(全国も2010年をピークに減少傾向。)(【図10】)

## 人的交流の動向(九州⇄韓国)

【図9】入国者数の推移(九州)



【図10】九州の韓国人留学生の推移(留学生数、全国比)



出所: 図9 法務省「出入国管理統計」より九州経済産業局作成。図10 (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」より九州経済産業局作成。

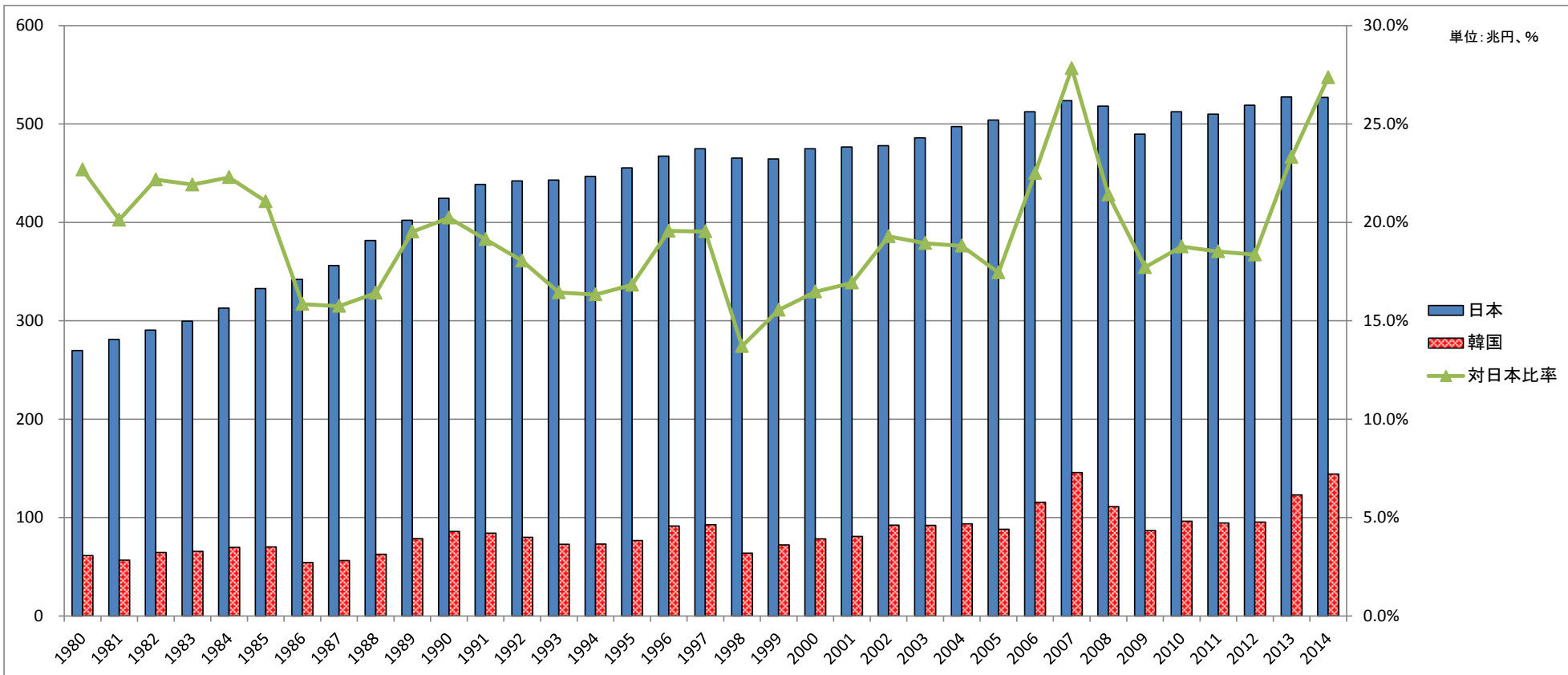
# 《参 考》

## 九州・日本及び韓国との貿易の変遷

	九 州						全 国				九州と韓国の貿易額				全国と韓国の貿易額			
	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)
1980 (昭和55)	15,387	#REF!	5.2	34,234	#REF!	10.7	293,825	#REF!	319,953	#REF!	1,247	#REF!	1,233	#REF!	12,251	#REF!	6,812	#REF!
1981 (昭和56)	17,511	13.8	5.2	34,457	0.7	11.0	334,690	13.9	314,641	-1.7	1,406	12.8	1,291	4.7	12,463	1.7	7,481	9.8
1982 (昭和57)	18,539	5.9	5.4	34,233	-0.7	10.5	344,325	2.9	326,563	3.8	1,226	-12.8	1,479	14.6	12,139	-2.6	8,081	8.0
1983 (昭和58)	17,642	-4.8	5.1	30,689	-10.4	10.2	349,093	1.4	300,148	-8.1	1,574	28.4	1,632	10.3	14,270	17.6	7,996	-1.1
1984 (昭和59)	22,150	25.6	5.5	30,978	0.9	9.6	403,253	15.5	323,211	7.7	1,948	23.8	2,031	24.4	17,114	19.9	10,010	25.2
1985 (昭和60)	21,362	-3.6	5.1	30,176	-2.6	9.7	419,557	4.0	310,849	-3.8	1,793	-8.0	2,149	5.8	16,937	-1.0	9,773	-2.4
1986 (昭和61)	16,002	-25.1	4.5	16,769	-44.4	7.8	352,897	-15.9	215,507	-30.7	1,936	8.0	2,195	2.1	17,607	4.0	8,862	-9.3
1987 (昭和62)	14,003	-12.5	4.2	16,503	-1.6	7.6	333,152	-5.6	217,369	0.9	2,066	6.7	2,809	28.0	19,216	9.1	11,702	32.1
1988 (昭和63)	13,171	-5.9	3.9	13,422	-18.7	5.6	339,392	1.9	240,063	10.4	1,051	-49.1	1,124	-60.0	19,778	2.9	15,149	29.5
1989 (平成元)	15,595	18.4	4.1	15,891	18.4	5.5	378,225	11.4	289,786	20.7	1,244	18.3	1,427	26.9	22,805	15.3	17,878	18.0
1990 (平成2)	16,742	7.4	4.0	19,917	25.3	5.9	414,569	9.6	338,552	16.8	1,231	-1.0	1,464	2.6	25,180	10.4	16,896	-5.5
1991 (平成3)	18,069	7.9	4.3	19,593	-1.6	6.1	423,599	2.2	319,002	-5.8	1,574	27.9	1,565	6.9	27,043	7.4	16,629	-1.6
1992 (平成4)	19,425	7.5	4.5	18,539	-5.4	6.3	430,123	1.5	295,274	-7.4	1,284	-18.4	1,417	-9.4	22,533	-16.7	14,659	-11.8
1993 (平成5)	19,190	-1.2	4.8	17,127	-7.6	6.4	402,024	-6.5	268,264	-9.1	1,151	-10.3	1,366	-3.6	21,239	-5.7	12,973	-11.5
1994 (平成6)	21,115	10.0	5.2	17,992	5.0	6.4	404,976	0.7	281,043	4.8	1,343	16.7	1,437	5.2	24,894	17.2	13,798	6.4
1995 (平成7)	23,526	11.4	5.7	19,860	10.4	6.3	415,309	2.6	315,488	12.3	1,845	37.4	1,626	13.1	29,278	17.6	16,222	17.6
1996 (平成8)	25,409	8.0	5.7	22,513	13.4	5.9	447,313	7.7	379,934	20.4	2,186	18.4	1,521	-6.4	31,923	9.0	17,353	7.0
1997 (平成9)	29,217	15.0	5.7	25,524	13.4	6.2	509,380	13.9	409,562	7.8	2,150	-1.7	1,533	0.8	31,352	-1.8	17,628	1.6
1998 (平成10)	29,388	0.6	5.8	21,805	-14.6	5.9	506,450	-0.6	366,536	-10.5	1,572	-26.9	1,461	-4.7	20,045	-36.1	15,772	-10.5
1999 (平成11)	27,621	-6.0	5.8	21,678	-0.6	6.1	475,476	-6.1	352,680	-3.8	2,099	33.5	1,869	27.9	26,062	30.0	18,243	15.7
2000 (平成12)	30,164	9.2	5.8	25,463	17.5	6.2	516,542	8.6	409,384	16.1	2,963	41.2	2,081	11.4	33,088	27.0	22,047	20.9
2001 (平成13)	28,374	-5.9	5.8	26,803	5.3	6.3	489,792	-5.2	424,155	3.6	3,006	1.5	2,193	5.4	30,719	-7.2	20,884	-5.3
2002 (平成14)	32,543	14.7	6.2	27,289	1.8	6.5	521,090	6.4	422,275	-0.4	3,279	9.1	2,097	-4.4	35,724	16.3	19,368	-7.3
2003 (平成15)	33,914	4.2	6.2	28,382	4.0	6.4	545,484	4.7	443,620	5.1	3,290	0.3	1,944	-7.3	40,225	12.6	20,712	6.9
2004 (平成16)	40,008	18.0	6.5	33,786	19.0	6.9	611,700	12.1	492,166	10.9	4,060	23.4	1,825	-6.1	47,851	19.0	23,834	15.1
2005 (平成17)	43,629	9.1	6.6	42,756	26.5	7.5	656,565	7.3	569,494	15.7	4,912	21.0	2,518	38.0	51,460	7.5	26,953	13.1
2006 (平成18)	50,595	16.0	6.7	54,294	27.0	8.1	752,462	14.6	673,443	18.3	5,654	15.1	3,478	38.1	58,489	13.7	31,783	17.9
2007 (平成19)	59,095	16.8	7.0	61,089	12.5	8.4	839,314	11.5	731,359	8.6	7,056	24.8	4,126	18.6	63,840	9.1	32,096	1.0
2008 (平成20)	59,260	0.3	7.3	71,647	17.3	9.1	810,181	-3.5	789,547	8.0	6,960	-1.4	3,360	-18.6	61,683	-3.4	30,520	-4.9
2009 (平成21)	40,984	-30.8	7.6	40,850	-43.0	7.9	541,706	-33.1	514,994	-34.8	5,126	-26.4	2,209	-34.3	44,097	-28.5	20,510	-32.8
2010 (平成22)	51,941	26.7	7.7	49,243	20.5	8.1	673,996	24.4	607,650	18.0	6,518	27.2	2,463	11.5	54,602	23.8	25,040	22.1
2011 (平成23)	52,281	0.7	8.0	56,415	14.6	8.3	655,465	-2.7	681,112	12.1	6,649	2.0	2,544	3.3	52,691	-3.5	31,701	26.6
2012 (平成24)	51,726	-1.1	8.1	56,460	0.1	8.0	637,476	-2.7	706,886	3.8	6,312	-5.1	3,394	33.4	49,113	-6.8	32,337	2.0
2013 (平成25)	56,203	8.7	8.1	66,154	17.2	8.1	697,742	9.5	812,425	14.9	7,421	17.6	3,225	-5.0	55,118	12.2	34,931	8.0
2014 (平成26)	57,719	2.7	7.9	68,131	3.0	7.9	730,930	4.8	859,091	5.7	7,148	-3.7	3,130	-2.9	54,559	-1.0	35,313	1.1

備考:九州の1980～1987年は下関港を含んだ金額。 出所:財務省「貿易統計」、門司税関提供資料から九州経済産業局作成。

## 日本と韓国の実質GDP推移





# その他

## 韓国に輸出されているその他のものは？

- お菓子：日本のチョコレート系のお菓子が人気がある。九州からもお菓子が多く輸出されている。
- ビール：九州からのビール輸出額90%が韓国。
- 化粧品：九州からの化粧品の輸出では韓国は台湾、香港に次ぐ第3位。
- 衣類：さまざまな衣料が韓国に輸出されている。

### 2014年お菓子の輸出先(九州)

	単位:千円
キャンディー類	13,341
米国	646
シンガポール	208
香港	4,274
台湾	7,461
韓国	752
砂糖菓子・その他のもの	11,307
米国	552
マレーシア	312
ロシア	449
香港	1,303
韓国	8,472
中国	219
ココア粉	2,805
韓国	2,805
チョコレート・その他の調整品	3,672
ロシア	2,710
韓国	962
チョコレート・詰め物をしたもの	57,630
米国	8,185
シンガポール	6,836
香港	6,841
台湾	35,768
チョコレート・詰め物をしていないもの	2,010
米国	787
シンガポール	566
香港	657
チョコレート・その他のもの	16,929
香港	642
台湾	8,877
韓国	5,884
中国	1,526
スイートビスケット	11,672
香港	11,672
ワッフル及びウエハー	932
シンガポール	357
香港	255
韓国	320
あられ、せんべいその他の米菓	25,228
米国	1,436
シンガポール	9,656
香港	2,935
台湾	8,718
中国	2,483
パン等のベーカリー製品 その他のもの	176,132
米国	47,514
カナダ	13,366
シンガポール	25,232
タイ	5,442
フィリピン	441
香港	41,074
台湾	37,302
韓国	1,825
中国	3,936
総計	321,658

### 2014年ビールの輸出先(九州)

	単位:千円
ビール	3,322,305
韓国	2,991,146
台湾	317,666
ロシア	9,713
香港	3,780
総計	3,322,305

### 2014年化粧品の輸出先(九州)

	単位:千円
化粧品	1,944,630
米国	7,932
アラブ首長国連邦	343
シンガポール	2,314
デンマーク	1,408
ドイツ	579
フィリピン	230
ベトナム	940
マカオ	11,299
メキシコ	374
モンゴル	1,406
ロシア	54,792
英国	8,885
香港	538,432
台湾	565,571
韓国	389,124
中国	361,001
総計	1,944,630

### 韓国シェアの高い野菜の輸入

- きゅうり、ピーマン、トマトは韓国からの輸入シェアが高い。

	単位:千円
トマト	215,831
韓国	215,831
きゅうり及びびガーキン	250
韓国	250
ピーマン	902,236
オランダ	135,810
ニュージーランド	24,874
韓国	741,552

### 2014年衣類の輸出先(九州)

	単位:千円
(くつ下類)	3,211
米国	329
香港	818
中国	2,064
(シャツ及び下着類)	30,381
ウガンダ	224
シンガポール	1,129
スイス	217
英国	1,343
香港	1,707
台湾	1,652
韓国	1,840
中国	22,269
(セーター及びその他外衣類)	2,708
台湾	1,910
中国	798
(ブラウス)	10,584
米国	335
シンガポール	241
台湾	2,460
中国	7,548
(手袋)	19,132
オーストラリア	1,164
シンガポール	2,700
スウェーデン	259
タイ	828
香港	975
韓国	892
中国	12,314
(女子用及び乳幼児用洋服)	94,214
シンガポール	2,549
香港	2,009
台湾	3,591
中国	86,065
(男子用洋服)	28,115
インドネシア	320
チリ	1,331
モンゴル	296
香港	5,570
台湾	1,267
韓国	8,697
中国	10,634
ショール及びマフラー類	1,951
米国	346
シンガポール	289
台湾	227
中国	1,089
ハンカチ	255
香港	255
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	68,597
米国	329
ウガンダ	224
オーストラリア	1,164
シンガポール	3,829
スイス	217
スウェーデン	259
タイ	828
マレーシア	260
英国	1,744
香港	15,148
台湾	4,077
韓国	3,073
中国	37,445
外衣類	138,449
アメリカ合衆国	645
インドネシア	320
シンガポール	2,790
タイ	432
チリ	1,974
フランス	500
マレーシア	737
ミャンマー	977
モンゴル	296
香港	8,157
台湾	8,189
韓国	8,905
中国	104,527
帽子及び同部分品	268
インド	268
衣類及び同付属品	247,765
米国	1,320
インド	268
インドネシア	320
ウガンダ	224
オーストラリア	1,164
シンガポール	6,908
スイス	217
スウェーデン	259
タイ	1,260
チリ	8,155
ドイツ	1,138
フィリピン	2,151
フランス	500
マレーシア	1,208
ミャンマー	977
モンゴル	296
英国	1,744
香港	26,746
台湾	12,925
韓国	29,531
中国	150,454
総計	645,630

### 九州オルレ

- オルレとは：韓国・済州島の方言で「家に帰る細い道」、済州の魅力を再発見させるために(社)済州オルレが提案したウォーキングコース。単なるトレッキングではなく、コース毎にテーマ性がある。
- 九州オルレ：宿泊施設や温泉をはじめとする九州にしかない観光地を組み合わせることにより、高付加価値な九州トレッキングとしてイメージ定着を国内外で図る
- 九州オルレのコースは現在15件。九州のほぼ全県を踏破する。

